

「学校安心ルール」(大空バージョン)

大空小学校の教育の理念

「みんながつくる みんなの学校 大空小 を合言葉に、
すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力で、すべての子どもの学習権を保障する」

＜基本的な考え方＞

○子どもが安心できるとは自分の居場所があることです。つまり、自分の周りの子どもや大人が、一人一人の違いを個性と捉え、自分をありのままに受け止め、自分らしくいることを認めてもらえていることです。したがって多様な個性の子どもと一緒に学ぶことに意味があります。一緒だからこそトラブルも起きます。しかし、そのトラブルを「4つの力(「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力)」を使って、学びに変えればいいのです。学びに変えることで、それぞれの子どもが安心できる学校づくりができます。

○子どもを取り巻く大人は、常に子どもから学ぶことを大切にします。子どもの声をしっかりと聴く姿勢を大切にし、大人も間違えた時にはやり直しをすることを大切にします。また、教職員だけでなく、サポーター(保護者)や地域の人、ゲストティーチャーや学生ボランティアなど、多くの大人が子どもに関わり、ともに学ぶことを大切にします。子どもが安心できる大人のチームをつくります。

段階	対応	
	すべての学校・地域生活において	学校が行う対応
たった一つの約束	「自分がされていやなことは、人にしない・言わない」	「やり直し」 「たった一つの約束」を守れなかったとき、子ども自らが校長室などに行き、自分の足りなかった4つの力(「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力)を確認し、「自分で何がどう間違っていたのか」「自分がどう解決するのか」を宣言し居場所に帰り、新たなスタートができるようにする。

(安心のための手立て)

- ・放課後週2回全教職員によるミーティングによる情報共有
- ・毎日の「さよならメッセージ」による子どもの声の把握
- ・子どもも大人も、日々の「やり直し」の徹底
- ・いじめアンケート調査による実態の把握
- ・ホームページやスクールレター(学校だより)などによる情報発信
- ・常にサポーター(保護者)やボランティアが学校に出入りできるよう365日学校公開
- ・こども相談センターや区子育て支援室等との日常的な連携